



市報

2000 12/1 NO.1281

DECEMBER
Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS
主な内容

バリアフリー
平成12年度山口市表彰
パビリオンの名称
「山口市館」に



まちも気持ちもバリアフリー

障害者の自立と主体的な社会参加を進める上で、社会の中にあるさまざま
な障壁（バリア）を除くこと（バリアフリー）が求められています。12月3
日から9日は障害者週間、また、9日は障害者の日と定められています。
この機会に障害者のバリアフリーについて考えてみました。

誰もが、障害を引き起こす傷病
や事故等に直面する可能性を持っ
ています。障害は、決して特定の
人の問題ではありません。また、
高齢化によって、何らかの障害を
持つて日常生活を送る人が、社会
全体の中で大きな割合を占めるよ
うになっています。

このような中、障害者を取り巻
く社会環境には、交通機関等の物
理的な障壁、資格制限等による制
度的な障壁、手話サービス等の欠
如による文化・情報面の障壁、障
害者を特別視する意識上の障壁が
あります。これら4つの障壁は、
障害者が日常生活を送る上での大
きな制約となっており、これらの
除去、いわゆるバリアフリーを進
めていく必要があります。

市では「山口市障害者福祉計画」
を策定し、みんなが助け合い支え
合う地域づくりを目標に、バリア

フリーのまちづくりを進めていま
す。

一方、市民の皆さんの中でも障
害者と健全者の積極的な交流が広
がってきており、意識のバリアフ

リーが徐々に進んできています。

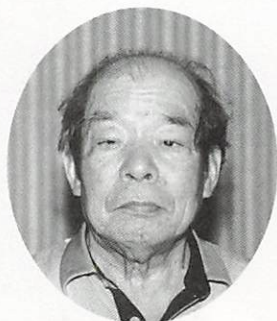
市民が身近に取り組むことで
きる意識のバリアフリー。そうし
た取り組みにかかわられている皆
さんにお話をうかがいました。

まず声をかけることから

市内には、いろいろな障害福祉
の増進のために活動している団体
があります。その身体障害者団体
との連絡・調整や障害者福祉のた
めの活動を行っている山口市身体
障害者団体連合会会長の汐見さん
にお話をうかがいました。

「連合会には、聴覚障害、視覚
障害、肢体不自由などの団体が所
属しています。毎年、山口市身体
障害者リクリエーション大会を開
催しています。

視覚や聴覚の障害を持つ人は昔



汐見九十九さん

に比べると減っています。医学の
発達で若い人の視覚、聴覚障害者
が少なくなってきたからです。逆に、
増加する交通事故で肢体不自由の
人が増えています。また、二重に
障害を持つ人も増えていて、障害



障害のある人、障害のない人との交流を目的に、毎年開催されて
いる山口市長杯西日本障害者ソフトボール大会



全員で夕食の支度をするキララホームの皆さん

者の状況も変わってきています。昔の人はいろいろと苦労しましたが、機械の発達などで、差し迫った不便さはなくなっています。まだ不十分な点もありますが、公共施設のバリアフリーも進んでいます。情報の提供については、点字、音訳のボランティアグループが献身的にやってくれていますし、手話講習会の開催も増えています。意識のバリアについては、まだ残っていて、バリアフリーになる

のは一番難しいと思います。しかし、最近では、点字や車いすの扱い方などの講習が小学校の授業に取り入れられたり、障害者との交流イベントが行われていて、障害者を理解してもらえる機会が増えていますし、実際、障害者に対する理解が進んでいると思います。

地域で一緒に生活することが大切

市内には、障害者福祉を推進する民間施設もあります。

15歳以上の知的障害者を対象とした通所授産施設「鳴滝園」では、平成7年に最初のグループホームを開設しました。グループホームとは、知的障害者たちが家を出て、働きながら地域で共同生活することです。グループホームでは、4人から5人の障害者がホームキーパー（世話人）の援助を受けながら生活を送ることになります。



岡山久代さん

皆さんには、障害者を理解して、お手伝いをしてもらえればいいと思います。そのためには、まず、障害者に声をかけることから始めることです。でも、何でも手伝うのではなく、できることは障害者にやらせて、手伝う必要のあることだけ手伝えばいいんです。」

園長の岡山さんは「私自身、障害のある子どもがいますので、この子が成人した時、障害のある人も、障害のない人も普通に地域の中で暮らせる社会を夢見ていました。昔は、障害のある子どもにとって、施設に入れて守ることが幸せだと誰もが思っていました。でも、本人は危なくても挑戦したい気持ちを持っています。施設では作業に対して給料を払って喜ぶが、外に連れ出してお金を使う喜びを教えれば、勤労意欲がわいてきます。生きがいをもって、人間らしく生活していけるのです。

グループホームを開設したのは、親からの要請や子どもたち自身の希望からでした。最初、不安に思う地域の人たちもいましたが、今ではよき理解者です。グループ



女性のグループホーム「キララホーム」

ホームでは、笑い声や楽しそうな声がいっつもしていて、子どもたちは生き生きと生活しています。

障害者を特別視する意識はまだ残っていますが、学校の職場体験授業で、中学生・高校生が施設に來ています。こうしたことは、意識のバリアを取り除いていくのに必要なことだと思います。知的障害の子どもたちは、声をかけてもらうのを待っています。皆さんには、話しかけるとときにしゃがんだりして、目線を合わせて話しかけてほしいと思います。

障害のある人ない人にかかわらず地域の中で一緒に生活することが大切です。障害者にとって住みやすい街は、健常者にとっても住みやすい街ですから。」と話されました。

もっとと障害者と接する機会を

山口市ボランティア連絡協議会主催の「ボランティア入門講座」を受講され、障害者と交流するウォークラリーに参加された佐谷さんにお話をうかがいました。

「以前から何か社会の役に立ちたいと思っていました。昨年の11月に行われた『山口ひまわり号スワールドの旅』で初めて障害者の方と接しました。『ひまわ

り号』とは、列車で障害を持つている人とボランティアが一緒に旅に出て楽しい一日を過ごそうという運動です。当日までは、障害者の方にけがをさせないだろうか、不安にさせないだろうかと考えてすごく不安でした。でも、当日は、楽しい時間を過ごしましたし、大學生や高校生を中心に多くのボランティアの人たちの姿を見て感激

しました。その時に手話に関心を持ったので、『ゆびの会』に入っ手話を勉強しています。今では、楽しくて、障害のある方と接するときの不安とかはありません。好きなことに出会えてよかったです。日本では、手助けしたいと思っ



佐谷静枝さん

ていても、照れくさくてできない人が多いと思います。障害者の方と接するイベントなんかにはほとんど参加して、慣れていけば、自然と手を差し伸べられるようになると思います。ただ、車いすの扱い方などの知識も必要になってくると思いますので、そういった講座を受けられてから参加されたら、もっといいと思います。」と終始、手話を交えながら話されました。

私たちが身近にできることは、障害のある人とじかに接して、心のバリアをなくしていくことです。街で障害のある方を見かけて困っているようだったら「どうかしましたか？」の一言をかけることから始めましょう。

お気軽に相談を

市内には、19人の身体障害者、知的障害者相談員がいらっしゃいます。

身体に障害のある方や知的障害のある方で、生活等についての悩みや質問などがありましたら、近くの相談員にお気軽にご相談ください。

身体・知的障害者相談員（敬称略・順不同）

氏名	住所	電話	主な相談内容
伊坂 敏子	大内矢田311-27	927-6767	肢体不自由
伊藤 忠	朝田1052-9	932-6279	
大庭 晴子	朝田671-4	932-6855	
兼常 妙子	糸米2-5-27	922-8463	
田中 絹代	錦町8-6	925-0183	
番屋 元生	仁保中郷1088-2	929-0306	
福増 満	江崎339-22	989-5146	腎臓機能障害
古谷 光政	江崎2105-12	989-3293	
開地 美涼	秋穂二島6208	987-2487	心身障害児
寺山 磐	大内御堀2955-12	927-2498	
堅田 雅子	朝倉町2-50	932-4320	聴覚障害
小万 豊	朝倉町7-17	925-5317	
林 悠子	江崎4236	FAX989-5100	視覚障害
汐見九十九	穂積町2-42	922-1794	
村岡 正	湯田温泉5-6-12	923-3903	直腸機能障害
藤本トモエ	白石2-6-16	922-4511	
岡山 久代	下小鯖2193-4	927-2791	知的障害
藤井 欽也	宮野下100-2	925-4716	
山藤 美男	中央5-13-9	924-1033	

○障害福祉に関する問い合わせ
高齡障害課（☎934-2794）



障害のある人、障害のない人と一緒にウォークラリーを楽しむ佐谷さん

19人2団体を表彰

平成12年度山口市表彰

山口市政の発展、公益の増進に顕著な功績があった人や団体を表彰する山口市表彰の表彰式が11月24日に行われました。

自治功労者

今年度は、19人2団体に佐内市長から表彰状と感謝状を贈り、功績をたたえました。

川口健二（56・吉田・市協力委員11年）

柏谷清治（68・円政寺町・市協力委員11年）

高橋大三（71・三の宮二丁目・大殿地区町内連合会長10年）

三輪正明（53・名田島・市議会議員24年）

重宗紀彦（60・下小鯖・市議会議員16年）

大隅清治（75・白石二丁目・選挙管理委員20年）

末成秀雄（77・旭通り二丁目・監査委員16年）

芸術文化功労者

木原治美（69・桜島三丁目・多年にわたり、詩吟指導者として芸術文化の向上に尽力）

社会事業功労者

松田良治（48・滝町・民生委員・児童委員15年）

浅原定子（67・湯田温泉五丁目・民生委員・児童委員15年）

体育事業功労者

嶋田正（56・楠木町・体育指導委員16年）

交通安全功労者

杉山茂樹（77・鑄銭司・小郡交通安全協会会長12年、鑄銭司地区交通安全対策協議会長25年）

松永義雄（70・陶・陶地区交通安全対策協議会会長12年）

篤行者

西嶋正之（83・吉敷・20年間にわたり、稲葉町内の清掃ボランティア活動を積極的に展開）

人名救助者

鷺見知春（21・深溝）
堀愛子（73・深溝）
松村照子（59・深溝）

中藤修治（70・深溝）

平成12年4月28日深溝地区内で、側溝へ転落した女性を機敏な行動と適切な処置により救助

吉田修（50・秋穂二島）

平成12年8月6日秋穂町沖で、水上バイクで漂流していた男女4人を機敏な行動と適切な処置により救助

寄附功労者

山口ライオンズクラブ（湯田温泉四丁目・平成9年度から、市内の新入学児童にランドセルカバーを寄附）

全国労働者共済生活協同組合連合会山口県本部（大内矢田・昭和60年度から、市内の新入学児童に交通安全連絡バッグを寄附）

平成12年秋の叙勲・褒章

市内在住の11人の方々が叙勲、2人の方々が褒章を受章されました。（ ）内は、章・功績・年齢・住所・主要経歴です。（敬称略）

吹田 愷（勳一等瑞宝章 多年にわたり国会議員として議案審議の重責を果たすとともに、自治大臣として国政の枢機に参画 73 中央一丁目 元自治大臣、元衆議院安全保障・内閣・環境委員長、元衆議院議員）

藤井英雄（勳四等旭日小綬章 保健衛生功労 71 吉敷 現済生会山口総合病院院長）

荒川雅孝（勳四等瑞宝章 地方自治功労 71 吉敷 元山口県出納局長）

河内啓治（勳四等瑞宝章 警察功労 75 後河原 元警視長）

志賀光雄（勳四等瑞宝章 地方自治功労 71 前町 元山口県人事委員会事務局長）

田村茂照（勳四等瑞宝章 地方自治功労 70 大内御堀 元山口県議会議員）

河野輝枝（勳五等宝冠章 男女共同参画社会形成推進功労 78 宝町 現山口県女性団体連絡協議会会長）

岡田富男（勳五等瑞宝章 地方自治功労 72 桜島四丁目 元山口県地方労働委員会事務局長）

古屋億兆（勳六等单光旭日章 警察功労 75 宮野下 元山口県警部）

中村 保（勳七等青色桐葉章 鉄道業務功労 71 鑄銭司 元日本国有鉄道職員）

溝部卯一（勳七等瑞宝章 矯正業務功労 73 大内長野 元山口刑務所看守部長）

宇野雪恵（藍綬褒章 更生保護功績 77 鑄銭司 現保護司）

矢儀修次（藍綬褒章 自衛隊協力功績 71 深溝 現自衛官募集相談員）



パビリオンの名称「山口市館」に

愛称は、ロマンチック時遊シアター

山口市では、このたび来年7月14日開幕の山口きらら博へのパビリオン出展に向け、パビリオンの名称およびそこで行うショーのより詳しい計画（実施計画）を策定しました。

パビリオンの名称決まる

今回皆さんに発表する実施計画により、パビリオンの正式名称が「山口市館」、愛称が「ロマンチック時遊シアター」と決まりました。時遊とは、パビリオンの出展テーマである「時の回廊」からイメージした「時間を遊ぶ」という意味の造語です。

めざすは自分のまちを再発見できる場

山口市館では、「時の回廊」過去から未来へ、歴史が燦めく山口市の発見・共感」をテーマに、山口市の魅力を発信します。皆さんはもちろん、市外の方も山口市の魅力を感じることで、自分のまちを思い出してもらい、来館者の誰もが「自分のまち」を再発見できる場をめざします。

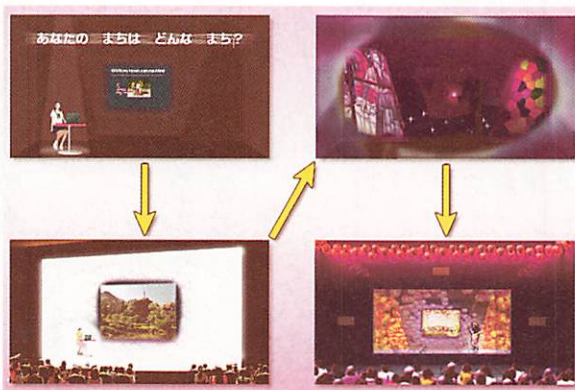
三つの空間による多彩な演出展開

山口市館に一歩足を踏み入れると、そこにはプレショー空間が広がります。さまざまな音響、照明効果を駆使したスライドショーにより、皆さんを今いる世界から時の回廊の世界へと誘います。



プレショー

次のメインショーは複合型ハイビジョンシアターで、座席数は車椅子席5席を含めた125席です。ハイビジョン映像を映し出す前面スクリーンと、その後ろのステージでの実際の役者による演技（照明効果により前面スクリーンが透ける仕掛け）、さらにその後ろにも一つのスクリーンを配置して、観客を不思議な空間へ誘います。



メインショー

あらすじを少し紹介します。主人公の「のぞみ」は市内在住の中学三年生で、今インターネットに夢中です。ある日、見知らぬ人からEメールで「あなたのまちはどんなまちを調べる旅にです。そこで彼女が体験する不思議な出来事とは

…。主人公役は大阪の劇団の中学3年生ですが、その他の出演者は、すべて市内在住、在勤の方です。
最後のポストショーは、山口市の人やまちの魅力をピアーする展示空間で、市外の方には、山口市への観光を呼びかける場となります。井戸状の円柱をのぞき込むと、水に溶け込むように山口ゆかりの人物や自然情景などの映像が流れるホールムービーという装置をぜひご覧ください。（館内一周の所要時間は約50分です。ポストショーのみの見学もできます。）



ポストショー

今後は、山口きらら博会場（きらら浜）で山口市館の建物工事が始まります。
来年の夏、山口市館で皆さんのご来館をお待ちしております。

インフルエンザ

かかる前に**予防**
こじらす前に**治療**



インフルエンザは、インフルエンザウイルスが引き起こすわが国最大の感染症です。症状は、のどの痛み、鼻水、くしゃみや咳など普通のかぜの症状に併せ、39度以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身症状が強く急激にあらわれます。また、気管支炎、肺炎などを併発し重症化しやすいことが特徴です。

インフルエンザは、患者のくしゃみや咳などで拡散されたウイルスによって、流行を引き起こします。予防には、予防接種がありますが、日頃から帰宅時のうがいや手洗いが効果的です。また、バランスよく栄養をとり、疲れをためないことも大切です。流行してきたら、睡眠不足などで体力が弱っている人は、人込みや繁華街への外出はなるべく控えましょう。

かぜの症状があれば、かぜだと軽く考えずに、早めに医療機関に受診しましょう。早めの治療は、自分のからだを守るだけでなく、人にうつすことも防ぎます。

○問い合わせ
市保健センター (☎921-2666)



山口市館完成予想図

- 山口市館アテンド募**
- 市では、山口市館の手伝いをしてくれるアテンドを募集します。アテンドとは、付添人、係員、案内係という意味です。
- ・業務内容は、館内案内、館外での整理誘導、メイんショーに出演する演劇役の三種類です。
 - 募集人員 15名程度
 - ・館内案内業務 15名程度
 - ・館外整理誘導業務 7名程度
 - ・演劇役業務 10名程度(経験者優先)
 - 応募資格 18歳以上の高卒程度の学力を有する方で、事前研修(6月に実施)に参加できる方
 - 任期 山口きらら博期間中(平成13年7月14日～9月30日)

- ※勤務は交代制(4日勤務1日休みが基本)です。
- 勤務時間 午前8時30分～午後9時30分のうち7時間、休憩1時間(早番2交代制)
- 待遇 ユニフォーム貸与、研修期間中は研修費を支給
- 給与 時給950円
- 交通費 1日1500円までの実費支給
- 勤務地 阿知須町きらら浜「山口きらら博」会場内 山口市館
- 応募方法 履歴書(写真貼付)、返信用封筒(〒住所、氏名を明記し、80円切手貼付)を同封の上、郵送してください。面接日時、場所等は後日連絡します。

- 応募締切 平成13年1月31日(水)
 - 応募先 アクティオ(株) 山口市パビリオン採用担当(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-6 大阪WTC 24階)
- 問い合わせ 市博覧会推進課
(☎934-2756)
- 山口市館とは別に、県および21世紀未来博覧会協会でも山口きらら博の会場や行政出展アテンドを募集しています。
- 問い合わせ 平日の午前10時～午後6時の間に「山口きらら博アテンド募集事務局」(☎0120-377-816)へ

第1期前売券

普通入場券	料金
大人	2,400円
シルバー	1,800円
高校生	1,500円
小・中学生	1,100円
パスポート	料金
大人	7,000円
シルバー	5,200円
高校生	4,400円
小・中学生	3,200円

お得な前売入場券情報

山口きらら博入場券の第1期前売(2割引期間)が、12月末で終了します。来年1月からは第2期前売(1割引)となりますので、ぜひお早めにお買い求めください。券は、市役所受付、各出張所などで販売しています。詳しくは、市博覧会推進課へお問い合わせください。

山口的あしあと

新世紀の扉を開けるまであと一か月！
今年もいろいろなことがありました。
2000年を写真で振り返ってみます。



▲ごみの減量化と再資源化のため、新たにペットボトル・新聞・雑誌・段ボールの分別収集を開始しました。(1月4日)



(3月21日竣工)



(3月29日竣工)

◀活力あふれる健やかな長寿社会の実現のため、市内16地区各1カ所を目的地に建設を進めている施設「高齢者生きがいセンター」。今年は、小鯖地区に「正田の館」(写真上)、嘉川地区に「なごみの家」(写真下)が竣工しました。



▲災害への迅速で的確な対応のため、消防緊急指令施設を山口・小郡消防組合消防本部に整備しました。(3月27日)

好都市中国済南市訪問団



▲友好都市締結15周年を記念し、済南市から謝玉堂済南市長を団長とする訪問団が来山。訪問団一行は、市長表敬訪問・記念植樹などを行いました。(5月22日)



◀市民が行う自由な社会貢献などの市民活動推進のため、市の基本方針や具体的施策を研究する山口市市民活動推進研究会を設置しました。(6月29日)

今年の主なできごと

- 1月
 - ▽中国文化施設開館準備室および図書館建設準備室を新設(1日)
- 2月
 - ▽国指定天然記念物「平川の大スギ」樹勢回復事業始まる(16日)▽第5回中原中也賞が神奈川県在住、蜂飼耳さんの「いまにもうるおっていく陣地」に決定(19日)▽湯田温泉地区活性化に関する調査報告書が提出される(23日)▽文化振興ビジョン骨子発表(28日)▽中園町に山口ケーブルビジョン株式会社新社屋竣工(29日)
- 3月
 - ▽山口市交通まちづくり調査報告書の提出を受ける(17日)▽第1回中国文化施設企画運営協議会開催(21日)▽山口市戸籍総合システムが稼働(27日)▽山口きらら博「山口市パビリオン基本計画」策定(31日)▽山口市地域情報化ビジョン策定(31日)
- 4月
 - ▽第五次山口市総合計画スタート
 - ▽介護保険制度開始(1日)
- 5月
 - ▽大内中学校屋内運動場落成式(6日)▽山口市一般廃棄物処理基本計画発表(16日)▽第1回山口市環境審議会開催(23日)▽山口

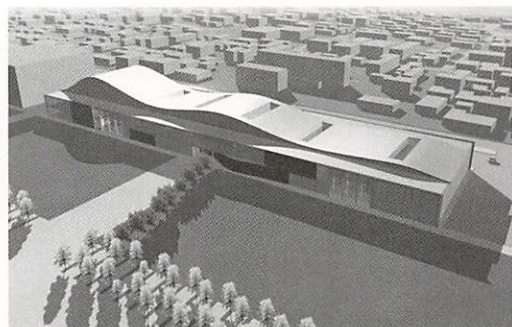
2000年



▲中山間地域振興の核施設として、販売・交流・情報発信の場となる道の駅「仁保の郷」を整備。有限会社仁保の郷の運営によりオープンしました。(10月7日)



▲パソコンやインターネットを気軽に体験・利用できる施設、地域情報交流センター「ばそら」が中園町の山口ケーブルビジョン(株)放送センター1階にオープンしました。(7月22日)



▲中国文化施設基本設計を確定しました。(8月28日)

国勢調査速報値



山口市の人口は

140,458人

平成12年国勢調査を10月1日現在で実施しました。

調査の概要が明らかになりましたので、お知らせします。

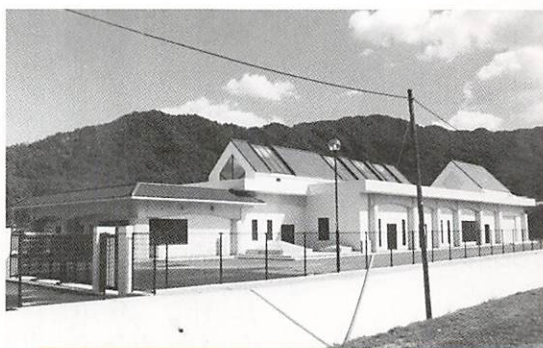
総人口 140,458人
 男性 67,104人
 女性 73,354人
 世帯数 55,925世帯

(注) この数は概数であり、後日、総務庁統計局から公表される数と相違することがあります。

市報12月15日号に地区別人口や世帯数など詳しい内容を掲載する予定です。

国勢調査へのご協力

ありがとうございました



◀仁保上・中郷農業集落排水処理場が完成。仁保地区の196戸を対象に排水処理を開始しました。(10月3日)

- 道場門前商店街振興組合駐車場並びにアーケード修復落成(25日)
- 6月
- ▽山口市中心市街地活性化対策資金融資制度創設(1日) ▽衆議院議員総選挙(25日)
- 7月
- ▽大内塗新創造デザイン・アイデア募集(5日) ▽第1回樫野川流域活性化交流会開催。海浜清掃を実施(20日)
- 8月
- ▽山口県知事選挙(6日)
- 9月
- ▽西京歴史フォーラム「大内義隆とその時代」開催(9日) ▽重要文化財「古熊神社本殿・拝殿」に防災施設完成(29日)
- 10月
- ▽平成12年国勢調査実施(1日)
- ▽本町西門前地区再開発事業準備組合設立総会(3日) ▽西部フレキ販売株式会社と铸銭司団地への進出協定締結(6日) ▽国道9号の朝田地区内が4車線化(31日)
- 11月
- ▽「大内塗新創造デザイン・アイデア募集」市長賞に小山哲彦氏の間接照明器具作品に決まる(6日)
- ▽生活協同組合コープやまぐちと旧ダイエー山口店への出店に関する基本協定調印(13日)

旧ダイエー跡地を市が購入

「コープやまぐち」が1・2階に書店

市は、10月31日に、ダイエーから道場門前一丁目の旧ダイエー跡地（土地と建物）を2億7000万円で購入する契約を結びました。

市では、「第五次山口市総合計画」や「山口市中心市街地活性化基本計画」の中で旧ダイエー跡地を西の商業核として再生することを目標としています。

中心市街地の今以上の衰退に歯止めをかけるとともに、再生に向けた市街地再開発事業などを進めていくために、さらには、地域住民、商店街から早期開店の要請に応えることから、ダイエー跡地を取得しました。



平成10年6月以来、シャッターが降りている旧ダイエー跡地



コープやまぐちとの調印式（11月13日）
（左から田村コープやまぐち理事長、下（株）街づくり山口代表取締役社長、佐内市長）

そして、11月13日には、生活協同組合コープやまぐちと、旧ダイエー跡地への出店に関する基本協定を締結しました。コープやまぐちの出店を契機に中心市街地の活性化が大いに期待されます。

コープやまぐちは、改装終了後の3、4月のオープンを予定しています。出店は、1、2階部分で、売り場面積は、約2380平方メートル。主に食料品、日用雑貨を販売します。初年度は、年商10億円を目指します。

3、4階の利用については、市の管理委託を受けた（株）街づくり山口が、商工会議所や地元商店街などと検討を重ねていきます。

「中國文化施設企画運営会議」開催

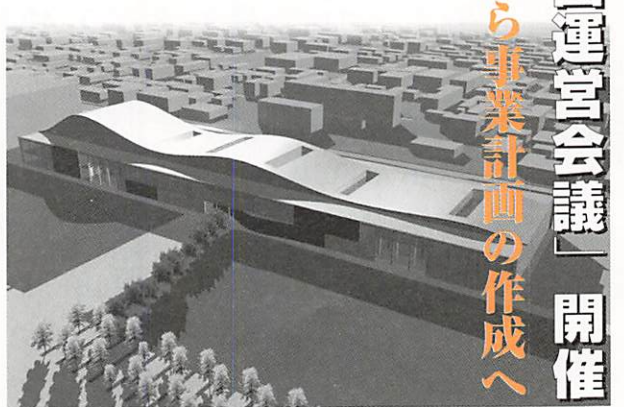
専門性の高い視点から事業計画の作成へ

中國文化施設は、8月末に、基本設計が確定し、現在、事業計画の作成に取り組んでいます。

この度、事業の方向性（出会う、はぐくむ、かたちづくる）をより専門性の高い視点から協議し、具体的な事業計画の作成や運営などを検討する「中國文化施設企画運営会議」を設置し、11月22日に第1回会議を開催しました。中國文化施設企画運営会議は、次の6人の委員で構成されています。

坂根 敬夫（岐阜県立国際情報科学
芸術アカデミー学長・
メディア文化特論
メデア文化特論）

阿部 一直（キュレーター）



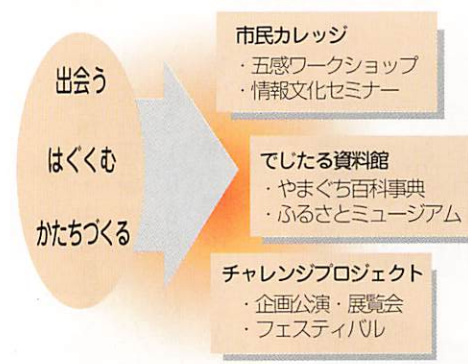
奥津 聖（山口市文学部教授）
吉村 誠（山口市教育学部教授）
高瀬 忠重（山口市立大学生活科学
部教授）

佐々木 鶴代（宇部短期大学教授）

中國文化施設企画運営会議では、学芸員やクリエイティブ・ネットワーク（中國文化施設のサポート）として、地域の視点から事業を提案し、実施するネットワーク（の事業企画案や市民のみならずからの提案をまとめ、事業計画の作成に向けて、協議を重ねていきます。

この会議は、平成15年度のオープンまで、年2、3回開催する予定です。

今、こんなことが考えられています！



それかね!
それいね!

あいまいな返事にご用心!



3日前に資格取得講座のセールス電話があつて、「いいです」と断ったのに、請求書が送られてきたんだけど、どうしよう。



突然電話をかけてきて、「簡単に資格が取れる」「副収入になる」と言葉巧みに高額な資格取得講座を売り込む商法を「資格商法」というんだ。売買の契約は、買い手が承諾しない限り成立しないから、今回の場合も契約は成立しないよ。

でもね、NOの意味での「いいです」を「OK=契約成立」と勝手に解釈して、代金を請求してくる業者もいるんだ。だから、断る時はあいまいな返事ではなく、「受講しません」「お断りします」とはっきり言うことが大切だよ。請求書が送られてきても代金を振り込んだりせず受講意思のないことを書面で業者に通知しておこう。

もし、契約しても電話勧誘販売はクーリング・オフ（無条件解約）ができるから、消費者相談窓口で早く相談すること!

○問い合わせ 市地域生活課
消費生活担当
☎934-2764



軽自動車税の減免制度

Q 軽自動車税の減免制度があると聞いたのですが、いつ手続きをとればよいのですか？

A 身体に障害のある人、18歳未満の身体もしくは精神に障害がある人と生計をともにする人が所有する軽自動車等、またはこれらの身体障害者等のために常時介護する人が使用する軽自動車等は、申請すれば、一定条

件の下で税金が減免されます。申請期間は納税通知書が届いてから、納期限の7日前までです。車の大きさや車種は問いませんが、1人につき1台です。ご注意ください。

減免申請に必要な書類は、身体障害者手帳・養育手帳、運転免許証、車検証、納税通知書です。

なお、常時介護される方、または同一世帯以外の方が運転される場合は、福祉事務所長の同生計・常時介護証明が必要となります。

◇問い合わせ 市課税課管理担当
(☎934-2734)



年金の還付 年金の請求

Q1 11月20日に厚生年金に入りましたが、すでに国民年金で11月分を納めました。重複して納めた場合の保険料はどうなるのですか？

A1 年金保険料はその月の末日現在で加入している制度で納めるようになるため、11月分の国民年金保険料はお返しすることになります。重複納付がわかり次第、社会保険事務所より還付請求書が送付されます。銀行での口座振込（郵便局は不可）

になるため、ご希望口座の預金通帳と印鑑をお持ちになり、市保険年金課または各出張所で手続きをしてください。1〜2ヵ月後に社会保険事務所より還付されます。

Q2 65歳になったのですが、年金はどうすれば受け取れるのですか？

A2 年金は請求をしないと受け取れません。国民年金のみの方は65歳の誕生日が来ましたら市保険年金課または各出張所で請求の手続きをしてください。あらかじめ必要書類を確認してから手続きをお願いします。

◇問い合わせ 市保険年金課
(☎934-2802)



就職せずに、 地元で会社設立!!

ましだみゆき
増田美幸さん

— 山口大学経済学部4年生 —

インターネットを活用した新しいビジネス

国内産業の成熟化や空洞化、情報技術（IT）の進展などにより、雇用情勢は大きく変化しています。こうした中、米屋町商店街の起業家支援ビル「レッツ」では、インターネットを活用した新しいビジネスや地域に貢献するビジネスを自ら起こそうとする若者や女性が活動しています。

その中の一人である増田さんは、インターネットを活用して、小規模農家や女性で起業した人を対象に、帳簿などを整理する会計サービスと自分の家で作った農作物などの販売を考えています。

「小規模な農家は、どんぶり勘定になりがちなので、帳簿などの整理をして、少しでもコスト削減できるようにサポートしていきたい。12月12日に会社設立を予定しています。」と語る増田さん。

「農業」と「会計」が好きなことを実感

5月までは、普通の会社に就職して、会計などの事務ができればと考えていた増田さん。起業のきっかけは、レッツで行われている『ベンチャービジネス論』という講義を受講したことでした。「自分は、『農業』と『会計』が好きなんだということを感じ、それらを生かしたことで



陶出身の山口大学4年生。卒業後は、農業をしながら、自分で起こす会社の運営を行います。ホームページアドレスは、<http://www.lets.gr.jp/neta/>

何かできないかということいろいろ考えてみました。」と増田さん。

会社設立の前に壁が・・・

増田さんは、会社設立の準備のために地元の農家を回っています。「子どもについてほしいけど・・・』『採算がとれない』などとあまりいい話が聞けません。」と農家の現状を痛感する増田さん。

また、設立する会社の前には、農協という大きな存在があることにも気付かされ、「今は、会社設立を前に大きな壁にぶつかっていますが、敢えてそれに向かっていきたい。今だったら、失敗しても次に生かせると思います。」と力強く語る増田さん。

農業のよさをわかってもらいたい

卒業してからは、実家で、減農薬野菜の栽培にもチャレンジする増田さん。「起業を通じて、いろいろな人に農業のよさをわかってもらいたい。安いから買うのではなくて、生産者の努力を理解して買ってもらうようにしたい。」

「将来は、全国で農業をしている人と情報交換をおこなえるネットワークを作り、山口市の南部の農業をピラーにしていきます。」と抱負を語る増田さんでした。

山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時50分(火・金)、午後12時50分(月・木・日)、午後6時20分(水・土)、午後10時20分(火・金)から20分間放送。
○1日～15日 「フラワーアレンジメント」

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

毎週日曜日、午前11時40分から放送。
○3日 「国民年金第3号被保険者ってなに」



12月の放送
予定です

やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

毎週水曜日、午後5時30分頃から「5時からワイド」の1コーナーで放送。
○6日 「山口野球道場」
○13日 「エコマネー」
○20日 「エコクッキング」
○27日 「栗林和彦のふるさと発見」





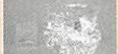




山口市リサイクルプラザ
 ☎ 927-7122 ☎ 927-7133
<http://www.urban.ne.jp/home/ymgplaza>
 開館時間 午前9時から午後5時
 資源ごみの受け付け
 午前9時から午後4時30分
 月曜と祝休日の翌日はお休みです

その他プラスチック製 容器包装の分別!?(その2)

今回は、私たちの生活の中にたくさんの「その他プラスチック製容器包装」が利用されていることがわかりましたね。やまぐちエコ倶楽部では、来年の4月から始まる「その他プラスチック製容器包装」の分別収集にさきがけて、具体的にどのようなものが分別収集の対象になるのか、そしてどういう点に注意したらよいのか、調べてみました。

分別収集の対象になるもの

※ここに示したのは、一例に過ぎません。

袋類 	スーパーレジ袋、インスタント食品の袋、スナック菓子の袋、煎餅の袋、下着や靴下の袋、カッターシャツの袋、野菜の袋、冷凍食品の袋など	カップ類 	カップ麺のカップ、ゼリー・ヨーグルトのカップ、バター・マーガリンの容器など
シートラップフィルム類 	タバコの外側のフィルム、お弁当・精肉・魚などのケースやトレイにかかっているラップ、野菜にかかっているラップや束ねてあるテープなど	ふた類 	ペットボトルのふた、マヨネーズのふた、プリン・ヨーグルトのふた（表面がプラスチック加工）など
ボトル類 	ペットボトル以外の飲料ボトル、化粧品類のペットボトル、シャンプーなどのボトル、ソースなどの調味料のプラスチックボトル、ウエットティッシュのボトルなど	チューブ類 	マヨネーズ、歯磨き、のりのチューブなど
		トレイ、パック類 	発砲スチロールトレイ、その他のトレイ、発砲スチロールの緩衝剤など

中身を使い切って、洗って出しましょう!

1週間分の容器などをためておくと、臭いが出ます。必ず、中身を使い切って、洗って出しましょう。

トレイにかかっているラップ類は、まとめて洗剤で、もむように洗うと臭いがとれます。



エコ倶楽部の調査から
 エコ倶楽部では、1週間にできる「その他プラスチック製容器包装」の量や種類について、のべ59人の会員の協力を得て調査をしました。家族4人で平均1・4袋のその他プラスチック製容器包装が出ました。これは1週間に燃えるごみの3分の1になります。調査をした会員からは、「今までの缶やびんなどに比べるとかなり手間がかかる」、「わかりにくい」という共通の感想が聞きました。その他プラスチック製容器包装は、上の表から見えてわかるように、たくさんの種類がありますが、まずは、どのようなものが分別の対象になるのか、知ることから始めましょう。詰め替え商品の購入など、なるべく無駄な容器や包装のないものを選んで買うのも分別に手間をかけないひとつの方法になります。

■12月のリサイクルアイデア講座（午前10時から正午）

ネクタイベスト、小物作り	1 (金) 8 (金)	さき織り	7 (木) 14 (木) 21 (木)
毛糸のリサイクル	1 (金) 15 (金)	布遊び	8 (金) 15 (金)
フラワーアレンジメント	2 (土) 16 (土)	牛乳パック工作	9 (土) 16 (土)
モラの手法を使った小物作り	5 (火)	しめ縄作り	23 (土)
和服のリフォーム	5 (火) 12 (火)	あんでるせん手芸	16 (土)
パッチワーク	6 (水) 13 (水)	カントリー小物	2 (土) 9 (土)
クリスマスリース作り	6 (水)		
洋服のリフォーム	7 (木) 14 (木)		

※リサイクルプラザの通常業務は12月24日（日）までですが、資源ごみの持ち込みは、12月28日（木）までできます。

■12月のフリーマーケット（おもちゃの病院もあります）

◇日時 12月10日（日）
 午前9時から午後3時
 ◇場所 リサイクルプラザ前庭
 ◇出店共益費 300円（1区画）
 ※1、2月のフリーマーケットは、お休みします。

■リサイクル工房

修理、修繕受け付けます。

お知らせ

年末ごみは早めに中部クリーンセンターへ

毎年、12月は中部クリーンセンター（清掃工場）に持ち込まれるごみが他の月に比べて、非常に多くなります。特に月の後半になるとごみを持ち込まれる車で大変混雑しますので、早めにごみを運び入れてください。

また、年末の大掃除等で一度に多量のごみを持ち込むことが予想される事業所等については、可能な限り早めに運び入れていただくようご協力をお願いします。

◇問い合わせ 中部クリーンセンター (☎927-0020)

史跡大内氏館第20次・第21次発掘調査現地説明会

史跡大内氏館跡は、昭和34年に国の史跡に指定された戦国大名大内氏の居館跡です。今回の調査で検出した堀跡や石列等を見学していただくほか、保存工事が完了した枯山水庭園も公開します。

◇日時 12月10日(日) 午前10時

～正午(小雨決行、雨天中止)

◇場所 大殿大路字竹原(大殿公

民館北)

◇問い合わせ 市文化財保護課 (☎920-4111)

しめなわ朝市 出店募集

◇日時 12月29日(金) 午前6時

30分～9時30分(小雨決行)

◇場所 パークロード・県立美術館前(歩道内)

◇出店料 300円

◇問い合わせ 12月15日(金)までに、しめなわ朝市実行委員会

(市地域生活課内 ☎934-2764)へ

心身障害児の療育相談

◇日時 12月21日(木) 午後1時

～5時15分

◇場所 県中央児童相談所(大内御堀922-1)

◇対象 心身に障害がある(疑われるものも含む)乳幼児とその保護者

◇相談担当者 小児科、精神科、整形外科の医師ほか関係者

◇持参品 母子健康手帳

◇問い合わせ 市高齢障害課 (☎934-2794)

第8回全国中学校駅伝大会

【開会式】

◇日時 12月22日(金) 午後3時

から

◇場所 市民会館大ホール

【競技】

◇日時 12月23日(土・祝)

女子の部：午前10時スタート

男子の部：午前11時15分スタート

ト

◇コース 県セミナーパーク・クロスカントリーコース(秋穂二島)

【閉会式】

◇日時 12月23日(土・祝) 午後1時30分から

◇場所 県セミナーパーク体育館

◇問い合わせ 大会山口県実行委員会事務局(白石中学校内 ☎24-8997)

海外たすけあい義援金募集

海外の恵まれない人々に援助の手を差し延べる「NHK海外たすけあい」を12月1日(金)～25日(月)の間実施します。

集められた義援金は、災害対策事業等に役立てます。

義援金受付窓口は、郵便局、取扱表示のある金融機関、農協、漁協、NHK(中央5-14-22)や日本赤十字社山口県支部(野田172-5)、山口赤十字病院(八幡馬場53-1)、血液センター(野田172-5)です。



動物を飼っている人のマナーが悪い。特に糞の後始末をしない人が多い。広い道路でペットに糞をさせて、平気で放置している。後始末をしないのなら、自分の家の敷地内でさせるようにしてほしい。

かわいいいペットの糞の始末をしない人の何と多いこと。市で糞の始末をするよう条例を作った欲しい。現在施行中のところも多い。

猫にえさをあげる人がいるので、近所に猫が住みついてしまい、糞や臭いがいたるところにしみついて、とても迷惑です。えさをあげるのなら、責任を持って飼ってほしいです。一時の優しさは、ただの自己満足だと思います。

市役所からペットに関する苦情が多く寄せられています。動物を飼う人はマナーやルールを守るようにお願いします。動物を飼う人もそうでない人も快適に暮らせるようにしたいですね。

カメラさんぽ



なかなか思いどおりにいきません

かづら細工や竹炭の製作などが行われた創造の森秋のイベント。慣れないかづらに四苦八苦(?)されたようです。(11月11日)



かぼちゃのランタンつくったよ

市中心部と仁保地区の小学生らが交流する「まちむら交流」。子どもたちのランタンづくりは真剣そのもの。どんなランタンができたのかな?(11月3日)



サビエル公園の記念碑

市内金古曾にあるサビエル公園は、当時サビエルが布教のために与えられた寺があった場所と伝えられています。また、亀山にあるサビエル記念聖堂は、サビエル来日400年を記念して建てられました。平成10年に現在の聖堂が再建されています。



日ごろからの火の用心が大切です

山口・小郡消防組合が、火災を想定しての避難訓練を行いました。寒くなり火を扱うことが多くなりましたので、皆さんも火の用心。(11月7日)



駅伝の季節です

駅伝シーズンの幕開けを告げる山口女子駅伝。一本のたすきを胸に、女性たちが秋色の市内を駆け抜けました。(11月5日)

やまぐち再発見⑨(表紙写真説明) サビエル来山450年

天文18年(1549年)、鹿児島に上陸したフランシスコ・サビエルは、翌年、京都に向かう途中山口を訪れています。その後、京都に上ったサビエルは、戦乱で荒れ果てた都を見て布教を断念。

翌天文20年再び山口を訪れ、当時西国一の大名であった大内義隆に布教の許可を得るため面会し、ポルトガルのインド総督からの文書や13種類の品物を献上し布教を許されました。